令和３年度避難所開設訓練等に関する実施報告について

令和３年８月
総務部総合防災安全課

訓練の実施目的

■避難所開設訓練

■台風や集中豪雨等の影響を受けやすい時期を見据え，現下の新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ，地域の方と連携した避難所開設訓練を実施
■令和３年防災教育の日の意見を踏まえ効果的・効率的な避難所運営方法の検証

■要配慮者等避難バス運行訓練・要配慮者用駐車場開設訓練

■１回目の訓練結果を踏まえて見直しをした避難バス運行計画の検証
■避難バスの受け入れ先となる避難所担当職員との連携要領の確認
■要配慮者用の駐車場の開設に当たり，駐車方法や避難者の避難所への案内方法を確認

実施日時・場所	避難所開設（体育館）	避難所開設（一部教室）	要配慮者等避難バス	駐車場
7/27 第二小		○		
7/29 第三小	○	○		
8/2　富士見台小		○		
8/2　国領小		○		
8/3　調布中		○	○	○
8/5　第六中		○	○	
8/6　北ノ台小		○		○

避難所開設訓練

■避難スペースの開設

備蓄倉庫から資機材を取り出し，避難スペースの開設を行いました。今回の訓練では，新たにシートを利用した避難スペースの確保をしたほか発熱や授乳用等に使用できるテントの設営を行いました。

■受付訓練

避難所開設する際の避難者役や受付役に分かれ，設営した避難スペースに避難者を受け入れる訓練を行いました。今回の訓練では，台風１９号時に受付が長蛇の列になったことを踏まえ総合案内での受付を廃止し，各避難者・動線の御案内をしました。

■トランシーバー通信訓練

避難スペースや要配慮者の方等の避難場所の確保のため，体育館と教室を同時開設することから担当者連絡用としてトランシーバーを導入しました。今回の訓練では，開設状況や各受付の避難者情報等を共有しました。

■意見交換

参加者同士で訓練を振り返り，意見交換を行いました。

要配慮者等避難バス運行訓練

■避難バスの運行

１回の輸送に係る時間の短縮とバス待ち時間の不安解消を図るため，「バス停の巡回方式」から「拠点施設とのピストン方式」に変更して訓練を実施しました。

■拠点施設の開設及び受入れ

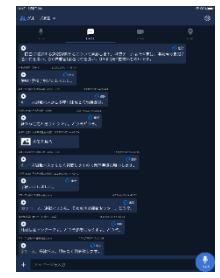
避難所到着後の受入れをスムーズに行うため，拠点施設に受付を設置して避難所での受付にかわって拠点施設で事前の受付を実施しました。

■避難バスへの引き渡し

拠点施設の避難者をスムーズにバスに引き渡すため，拠点施設と避難バスとの連携要領を確認しました。

■通信連絡

福祉避難所本部における運行管理，避難所及び拠点施設での避難者の受入れ及び引き渡しをスムーズに行うための通信手段を確認しました。



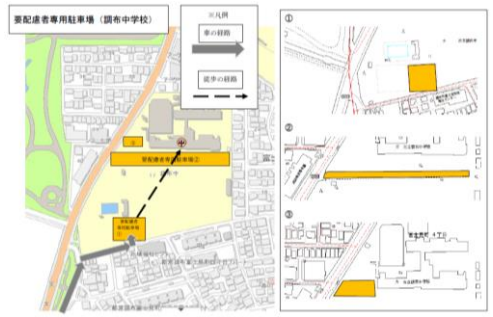
■避難所への引き渡し

避難バスの避難者をスムーズに避難所に引き渡すため，避難バスと避難所担当職員との連携要領を確認しました。

要配慮者用駐車場開設訓練

■図上や現地での案内方法の確認

図上で車両の駐車方法や避難者の避難ルート確認後，現地で確認を行いました。



■車止めの解除方法の確認

駐車場の車止めの解除方法について確認しました。

参加職員からの意見

避難所開設訓練について

■教室を避難所として開設する際に，スペースを確保するために机やイスを廊下に出したが，要配慮者の受付も廊下にあるため，避難者の導線が確保できるか懸念がある。
■教室内の机について，教室内の壁際に机を全て寄せると避難スペースはほとんど確保できなかった。通常で６区画，無理やり詰めて９区画であった。
■防災教育の日では紐を使用して区画整理したが，今回のシートを使用した区画設置の方が簡単で，避難者も自分のスペースが分かりやすくて良い。
■総合案内は，大人数を振り分ける必要があるため，マイクや大きく目立つ表示物等があると良い。また，各受付まで距離があるため，掲示物の活用など動線案内の工夫が必要である。
■避難所に到着した誰もが各役割をこなせるよう，避難所運営に必要な全ての役割に係るごく簡単な手順書（A4片面程度）があると良い。
■風水害時の想定なので，靴袋，傘袋が相当数必要ではないか。
■トランシーバーの性能が良く，とても聞き取りやすかった。
■トランシーバーは，駐車場対応者と避難所対応者で違うチャンネルで通信できた方が良い。
■掲示物は各受付で色分けすると良い。
■参加者の人数が多くコミュニケーションをとるのが難しかった。

要配慮者避難バス運行訓練について

■拠点施設での受入れ対応に当たる職員が少ない。配置職員を増員するか，それが難しいのであれば市民に協力を求めることについても検討が必要である。
■倒木や道路冠水などが発生した場合の迂回にも対応できるように，避難バスの運転手は，調布市の地理に詳しい人を当てていただきたい。
■バスから降りてきた避難者がどのような配慮を要するのか外見上認識できるようなしくみがあれば，学校での受付がスムーズに進められる。
■要配慮者が靴を脱ぎはきするのには時間がかかることも想定されるため，例えば拠点施設に防水シートを敷くなど靴を脱がなくてもいいようにしてはどうか。

地域からの御意見

避難所開設訓練について

■災害時には誰が現場に参集できるかわからない。指揮者がきちんと指示を出せないと人が集まっても機敏に動けないのではないか。
■市と一緒に具体的な避難所開設の動きの訓練ができて良かった。
■市も防災について考えていると感じた。色々な人が訓練に参加し，積み重ねていくことが大事だと思う。
■市職員と地区協議会の力だけで避難所運営を行うには限界があると感じた。避難者にも積極的に協力を求めるべきである。
■二次元コード受付について，携帯の使用になれている人なら問題なく入力できると思う。
■レジャーシートによる避難区画は設営が簡単であり，スペースが一目でわかるため良かった。
■学校をもう少し広く利用して訓練ができると良い。
■ハケ上のため，正直他人事のように思っていたけど，浸水時はハケ下から避難される方を，ここで受け入れることになるんだという意識を持てた。
■ペット受付は建物の外にあるため，風が強いと受付用紙への記入が難しいと思うので，バインダー等があるといいと思う。
■避難所の開設，運営等について，自治会や地区協議会等と連携してやってほしい。
■初めて来る学校だと受付や避難スペースまでの導線が分かりにくいので，案内や掲示物等を工夫してほしい。

要配慮者等避難バス運行訓練について

■車椅子利用者や発熱者が拠点施設に来た場合の対応を示していただきたい。
■避難者名簿は拠点施設で記載するのではなく避難所についてからゆっくりと記載したい。
■避難所への引き渡しがスムーズにできないと，拠点施設で行う事前受付が意味をなさなくなる。
■拠点施設を増やしてほしい。
■避難バスの運行に当たり，事前に避難バスの利用希望人数や災害時に支援が必要な人の人数を把握しておくことが必要ではないか。
■避難バスの利用対象者や集合場所，運行状況などに関する情報の事前周知に加えて，当日の伝達方法についても周知していただきたい。